

自治体名兵庫県三田市

本事業の担当部局名総合政策部移住定住促進課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		若者のライフデザイン支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度
総事業費(A)(円)		6,003,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	3,000		差引額(A-B)(円)	6,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		6,003,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	6,003,000	0	0	0		6,003,000	
	対象経費支出予定額	6,003,000	0	0	0		6,003,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 今後人口減少が中長期的に進行することは避けられません。まちの活力を維持するためにも、10年後も、10万人が「三田っていいまち！」と思えるまちをめざします。 そのために「人口減少にも負けないまちづくり」として少子化対策や移住・定住促進に取り組むとともに、まちの活力を維持するために活動する人を増やすことで、これまでのまちづくりで築いてきた暮らしやすさを維持しつつ、住み続けられるまちを目指します。 <本個別事業の位置付け> 市内在学中の高校生や市内・外に通う大学生を対象に、若者が地域や地元企業と一緒に地域課題に取り組む中で、自己理解を深め、将来のライフデザインを考える機会を提供する。将来三田で起業を含めた就労・市内で定住し、地域に根ざした活動につなげることで三田を拠点としたライフデザインを描く素地をつくる。市内で就職した後は、個別事業②「若者のための未来設計図～ワーク&ライフデザイン講座～」につなぎ、市全体の少子化対策の底上げを図る。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	地域課題解決型自己実現プログラム実施	若者が、地域と接点を持たないまま進学・就職で市外に出てしまうことによる課題に対し、若者が「自分の未来」と「地域」を結び、三田市との関係を人生の選択肢として持てるようになることを目的に、ワークショップなどを通じた自己理解プログラム(対象を高校生、大学生と分けて実施)を実施する。実施回数は、上半期と下半期に分け、各期2回以上、1回あたり約20人程度の参加予定。					
	2	働き方・生き方を考え、市内企業と出会う(受け皿をつくる)	地域と若者をつなぎ、「最初の一步」を後押しする交流イベントを実施。学生テーマ回(悩み・関心・キャリア)と市内事業者テーマ回(地域課題・仕事)を交互開催し、関係構築をめざす。さらに、受け皿の標準化を通じて活動の期待値を参加者が理解しやすい仕組みを整え、柔軟な関わり方を可能にする仕組みを構築する。また、本事業を個別事業②「若者のための未来設計図～ワーク&ライフデザイン講座～」につなげることで、市全体の少子化対策の底上げを図る取り組みを進める。実施回数は、4回以上(学生テーマ回と事業者テーマ回を相互開催)、1回あたり約10人程度の参加予定。					
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	0～4歳児童数(第2期三田市まち・ひと・しごと創生総合戦略)		人	3,500(R8年度)	3,892(R2年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.13(R2国勢調査)	
	婚姻件数		件	270(R7兵庫県「市区町別主要統計指標」)	
	婚姻率			2.47(R7兵庫県「市区町別主要統計指標」)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	関わった学生の延べ人数	人	240(R8年度)	—
	②	参画企業数	団体	10(R8年度)	—
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				